

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業）
分担研究報告書

先天性および若年性の視覚聴覚二重障害の難病に対する医療と支援に関する研究

研究分担者 中野裕太 あいち小児保健医療総合センター 眼科 専門員

研究要旨

診療や療育体制も確立されていない視覚・聴覚二重障害児における自験例の分析を行い、障害の程度愛知県における療育の現状を示した。

A. 研究目的

視覚・聴覚二重障害児はまれであり、診療や療育体制も確立されていない。当院における視覚・聴覚二重障害児の現状を調査し、その問題点を検討した。

B. 研究方法

当院通院中の視覚・聴覚二重障害児 7 例において、初診時年齢、性別、原因疾患、視覚・聴覚重症度による分類、精神発達障害の有無を評価した。

（倫理面への配慮）

診療録の後方視的な検討であり、患者に侵襲的な検査は行わなかった。

C. 研究結果

CHARGE症候群の症例では難聴とコロボーマの合併を認めたが、視力は症例によって良好なものもあった。

D. 考察

二重障害の程度によって盲学校や聾学校への案内など、自立に向けた支援が必要と考えられた。

E. 結論

精神発達遅滞も伴っていることも多く、家族のサポートも不可欠である。多職種による支援が必要と考えられた。

F. 研究発表

1. 論文発表
該当なし

2. 学会発表
該当なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
該当なし

2. 実用新案登録
該当なし

3. その他
該当なし